

令和3年度
推薦入試

【 人間学群 教育学類 】

区 分	出題意図・正解例
小論文	<p>I 出題意図</p> <p>本問題は、2020年5月6日付で欧州委員会（European Commission）のウェブサイト（https://eacea.ec.europa.eu）内に掲載された Noorani, S. and Crosier, D. (2020) Focus on: Can the coronavirus pandemic improve our schools? の全文である。 (Retrieved from https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/focus-can-coronavirus-pandemic-improve-our-schools_en)</p> <p>今日、世界各国が直面する課題となっている新型コロナウイルスの感染拡大の抑止であるが、問題文においては、その中核的方策として採用された学校閉鎖によってもたらされた学校教育における混乱とその解決策、とりわけ、教育格差拡大への懸念とその改善のための諸方策について整理されている。</p> <p>問題文は比較的平易な英文であり、本学類生に求められる英文読解力を受験生が有しているかどうかを判断するためにも適切なテキストである。その内容を正確に読み取ると同時に、自らの高校生活において経験した学校閉鎖や当該期間中の学校の対応などを想起しつつ、それらをヨーロッパにおける諸状況と比較検討しながら考えることができるかを問い、受験生の学力の程度を確認することが出題の意図である。</p> <p>問1は、英文和訳により基礎的英語力を確認するものである。問2及び問3は、問いの答を本文に即して考えさせ、本文の理解が十分におこなわれているかどうかを問うことによって、受験生の読解力をみるものである。問4は、問題文における指摘について具体的な例を挙げて考えることを求め、それを通して、受験生の論理展開力と文章表現力をみるものである。</p> <p>II 解答例</p> <p>問1</p> <p>[解答例]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ヨーロッパ中で学校が閉鎖されている期間中、遠隔教育のための教員研修機会は非常に限られていたものの、教師たちは代替の教育法を開発しなければならなかった。彼らは、自分の家族や子どもたちのニーズに応えることに加えて、これらの努力を頻繁に行わざるを得なかった。また同時に、学齢期の子どもたちの親たちは、突然、仕事やテレワークの手配と、子どもたちのホームスクーリング活動を支援するための努力とのバランスをとらなければならなくなったのである。</p> </div>

問 2

[解答例]

児童生徒が自ら、必要に応じて運動したり休憩を取ったりすることを含めて、1日の計画を立てることができる柔軟性を得たこと。課外活動がなくなったことによって、児童生徒が学業により多くの時間を割くことができるようになったこと。全体的な学習内容の削減と高水準のテストの延期、及び、プレッシャーや失敗への恐怖から解放されたこと。そして最後に、決して軽んずべきでないも要因として、学校でいじめを受けたことのある生徒にとって、自宅の安全な場所で勉強することができるようになったという歓迎すべき安心感を得たことが挙げられる。

問 3

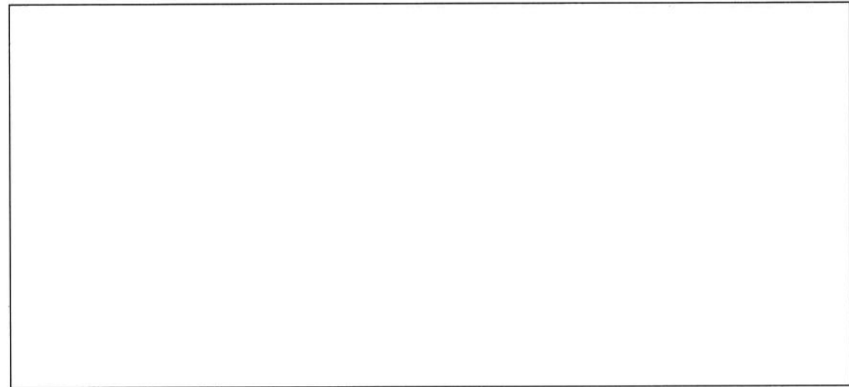
[解答例]

今回のパンデミックによって、親（保護者）が生徒の学習と成長を支援する重要な役割を果たしていることも明らかとなった。学校と親との間の明確なコミュニケーションを確立し、学習の目的と期待される成果に関する簡単なガイドラインを設けることは、誰にとっても過剰な負担を感じることなく親が子どもを支援できるようにする上で極めて重要である。

問 4

[観点]

・当該箇所本文の記述は以下の通りである。



- ・このうち、「今回のパンデミックにおける経験から教訓を得ようとする我々の姿勢が問われていること」「一人一人の幸福と成功が重要なカギを握ること」「とりわけ、社会的・教育的不平等の拡大を防ぐため、最も支援を必要としている児童生徒に支援を届けること」に触れていることを重要視する
- ・その際、本文中（第 4 段落）に示されたヨーロッパ各国の具体例に触れていれば、積極的に評価する
- ・自らの意見を述べる際には、社会的・教育的不平等の拡大を防ぐための具体的方策について論じていることを重要視する。